

令和5年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	65	学 校 名	静岡県立磐田南高等学校(全)	校 長 名	野村 賢一
------	----	-------	----------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	徳のある人間性の育成	図書館の年間の貸出数 5,000 冊以上	12 月末で【2709 冊】の貸出数。目標達成率【54.2%】	B	一人当たり 2.9 冊であり、昨年度までの目標であれば十分な達成率であった。新図書館は利便性が高まり、貸出数は増加している。
		交流を通して互いの文化の良さをシェアする生徒 80%	国際交流や留学等に興味を持っている。【49.3%】	B	マウンテンビュー高校派遣募集に、60 名を超える生徒の応募があった。多くの生徒が、県主催の各種国際交流に参加した。
イ	確かな学力の育成	I C T機器を活用し、させる授業を実践する教員 100%	I C T機器を授業で活用できる環境を整備し、授業力向上を図る。【89.4%】	A	新校舎となり、通信環境は随分改善された。特別教室に関して、Wi-Fiの受信機が設置されていないため、県による整備の動向を見定めながら準備をしていきたい。
		基礎基本を大切にし、授業に主体的に取り組む生徒 80%、測定ツールを活用し、授業改善に取り組む教員 90%	授業が分かりやすく、学習意欲が向上した生徒【78.7%】 学びの基礎診断を活用し、指導を検証・改善した教員【97.8%】	B	他教科も含めて授業見学を積極的に行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善に努めることができた。また、学びの基礎診断を活用して指導を検証・改善し、教科指導力の向上に努めることができた。
		理数科事業に積極的に取り組む生徒 90%	科学系コンテスト参加【80.5%】 科学の甲子園参加【70.7%】 高大等連携講座参加【97.3%】	A	各行事を通して、生徒の自然科学への興味・関心を高め、科学的な思考力を養うことができた。
ウ	こころざしの育成と進路目標の実現	高大連携事業参加 50 名、オープンキャンパス参加率 90%以上	2 年生全員が、夏休みのオープンキャンパス参加。	A	国公立大学のオープンキャンパスに参加した。
		ミニ大学を通して進路意識が向上した生徒 90%	講義の内容が「よかった」【94.8%】 進路について「役に立った」【94.1%】	A	3 年ぶりの通常開催であったが、講師からの評価も高かった。

様式第 3 号

エ	健やかでたくましい心身の育成	部活動や学校行事に積極的に取り組む生徒 90%以上	「部活動に積極的に参加した」と回答した生徒【85.5%】 「学校行事に積極的に参加した」と回答した生徒【93.7%】	A	コロナが5類になり、部活動、学校行事が積極的に行われるようになった。新校舎での文化祭も生徒が工夫を凝らして行うことができた。生徒の成長を育むためにも学校行事を行える環境を確保していきたい。
		自主的に健康管理ができる生徒 90%	「健康に関わる指導について適切に行われている」と回答した生徒【87.8%】	B	昨年度同様、80%以上の達成度だった。保健実行委員会の「ほけんだより」や昼休みの放送を活用し、健康に対する意識をさらに向上させていきたい。
オ	安全・安心で、信頼される学校づくりの推進	〈いじめ・ネットトラブル・交通事故等に関する内容について〉安全・安心な学校生活を送っている生徒 100%	「交通安全に関わる指導に積極的に取り組んでいる」 【生徒 89.7%】 【保護者 81.4%】	A	自転車事故0プロジェクトの指定校となり、「ヘルメット着用」の推進事業を行ってきた。0にはならなかったが、大きな事故はなかったことが幸いである。継続して交通安全の意識を高めていきたい。
		〈カウンセリングの充実等に関する内容について〉安全・安心な学校生活を送っている生徒 100%	「悩みごと等において、相談できる人や場所がある」 【生徒 83.9%】 【保護者 86.2%】	B	生徒が精神的にも身体的にも安心・安全に学校生活を送ることができるよう引き続き努めていきたい。
		安心で快適な学校生活を送ることができる環境整備	「施設の安全と点検が行われ、改善が図られている」と回答した生徒【84.9%】 「学校生活が安全・安心に送られている」と回答した生徒【95.6%】	A	7月と12月の学校安全点検で修繕が必要な箇所は、事務室と連携し、優先順位の高い方から修繕に取り掛かり、迅速な対応ができた。また、温湿度計を備えたCO2モニターを教室に設置する等、感染症・熱中症対策に努めた。 法定点検結果の指摘事項の改善や施設設備の修繕など限られた予算の範囲内で優先順位をつけて環境整備を行った。
		12月の地域防災訓練に参加する生徒 80%	12月の地域防災訓練に参加した生徒【10%】	B	訓練当日、フィリピン沖地震による影響で津波警報が発令されていたため、ほとんどの地域防災組織が「訓練が実施されなかった」「参加対象外だった」であった。

様式第 3 号

		積極的に情報発信を行っているとする保護者 80%	「積極的に情報発信を行っている」と回答した保護者【84.7%】	A	学校の web については、頻繁に更新がなされている。また、管理職が絆ネットを通じて、情報の告知に努めている。 X などの SNS を用いた広報については、DM などの問題があると考えている。学校の web については、CMS の変更などが実施されるので、対応をしていきたい。
カ	ワークライフバランスを考えた働き方改革	定時退勤や時間外業務の縮減を意識する教職員 90%	「定時退勤や時間外業務の縮減を意識している」【68.8%】	B	昨年度に比べ、時間外業務の縮減となった。さらに休暇を取得しやすい日程の工夫をしている。 旧校舎解体工事の関係で、校外で部活動を行う等、様々な点で調整も必要。 業務のさらなるスリム化、効率化を目指し、働きやすい環境づくりを推進する。